

〔名 称〕

こまがた
史跡駒形遺跡（追加指定）

〔追加指定所在地〕

茅野市米沢字平出浦 5063 番 1 外

〔追加指定面積〕

3,506.90 m²（合計面積 31,426.12 m²）

〔概 要〕

こまがた 駒形遺跡は、こくようせき 黒曜石原産地で有名な霧ヶ峰の南麓、ひのきざわがわ 桧沢川が形成した扇状地に立地する縄文時代早期前半から後期前半にわたって長期間断続して営まれた集落遺跡である。黒曜石の集積、製作、搬出に関与した集落跡と推定され、当時の石器製作技術や交易の実態を知る上で重要であることから、平成 10 年 1 月 16 日に史跡指定されている。

平成 23・24 年に茅野市教育委員会が実施した試掘・確認調査によって、追加指定対象地から縄文時代早期後半及び前期前半、中期、後期前半のたてあなじゅうきよあと 竪穴住居跡をはじめとする遺構や黒曜石製の遺物が確認され、史跡の価値づけが補強された。これらの資料を元に、条件の整った箇所について追加指定するものである。

〔問い合わせ先〕

茅野市教育委員会文化財課文化財係

0266-76-2386

